

証券コード：5907

第57期(中間期)

# 株 主 通 信

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



JFE コンテナ 株式会社

# 株主の皆様へ

## ご挨拶

株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第57期（中間期）株主通信をご高覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

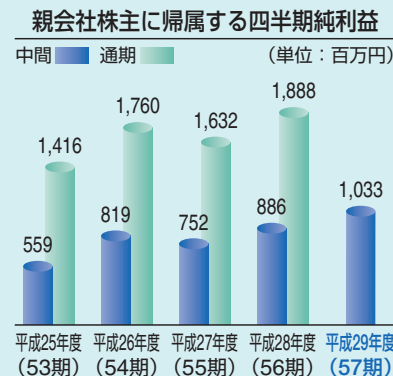
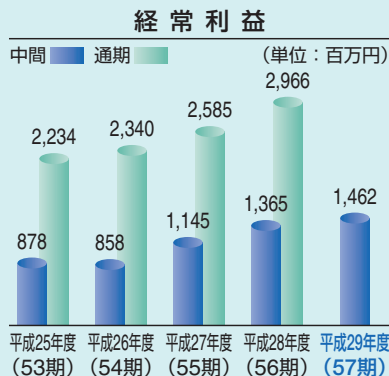
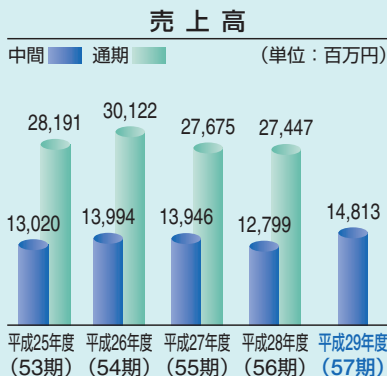
当中間期（第2四半期連結累計期間）におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に、個人消費が持ち直しており、地政学的リスクによる為替変動等の懸念材料はあるものの、緩やかな回復が続いております。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましては、主要需要分野である化学業界では、汎用製品の国内生産集約化が進んでおり、また石油

業界でも会社統合による事業所の統廃合が進んでおります。このような状況下で、全国の200リットル新缶ドラムの当中間期の販売実績は、前年同期比4.5%増の678万缶となりました。需要分野別では、すべての分野が前年同期を上回り、特に化学、塗料の両分野が共に4.9%増と大幅な増加となっております。

このような需要環境の下、当中間期における当社グループの連結業績につきましては、売上高148億13百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益13億83百万円（同3.6%増）、経常利益14億62百万円（同7.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億33百万円（同16.6%増）となりました。

## 決算ハイライト（連結）



売上高は、国内・中国でのドラム販売量増やドラム販売価格アップに加え、元高による為替差で中国の売上高が増加した影響もあり増収となりました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、ドラム販売量の増加、品種構成良化の寄与により増益を達成いたしました。なお、当期は特別利益として投資有価証券売却益、特別損失としてPCB処理引当金及び高圧ガス容器事業の研究開発投資に伴う減損損失を計上しております。

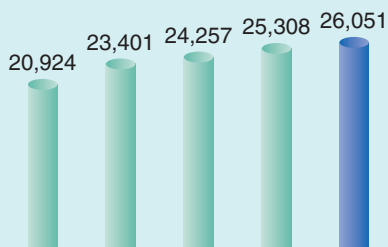
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
小野 定男

### 純資産

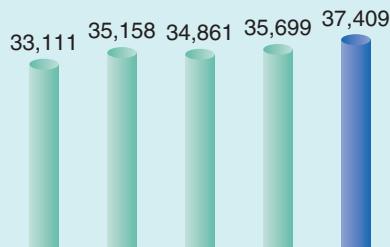
(単位：百万円)



平成25年度 (53期) 平成26年度 (54期) 平成27年度 (55期) 平成28年度 (56期) 平成29年度 (57期)

### 総資産

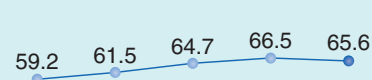
(単位：百万円)



平成25年度 (53期) 平成26年度 (54期) 平成27年度 (55期) 平成28年度 (56期) 平成29年度 (57期)

### 自己資本比率

(単位：%)



平成25年度 (53期) 平成26年度 (54期) 平成27年度 (55期) 平成28年度 (56期) 平成29年度 (57期)

※純資産、総資産、自己資本比率の53期～56期は3月末、57期は9月末であります。

## ドラム缶事業

当中間期の当社グループのドラム缶販売数量は、477万缶（前年同期比4.2%増）となり、売上高は146億80百万円（同16.3%増）、経常利益は15億23百万円（同8.4%増）となりました。

ドラム事業は、国内及び中国での販売数量増とドラム缶の値上げにより増収となりました。収益面でも販売数量増と品種構成の改善及び、工場での自主保全活動の取り組みによる生産性の向上と故障率の低減により、コストダウンが進み増益となりました。



- a. 一般缶…一般的なドラム缶で、石油・化学関係等に使用されている
- b. S-オープン…強度に優れたリユースオープンドラム缶
- c. ケミドラム…ポリエチレンの内装と鋼製の二重構造の缶
- d. エコフェザー…高張力鋼板を使用した薄肉ドラム缶
- e. ステンレスドラム缶…長期間（20年程度）使用可能なリユース缶

## レリーフドラム缶

胴に浮き彫り模様を加えた缶で、胴のパネル強度が向上します。



目立つ外観で、一目で内面は、外面と凹凸判別できます。が逆になります。

## 高意匠プリント缶

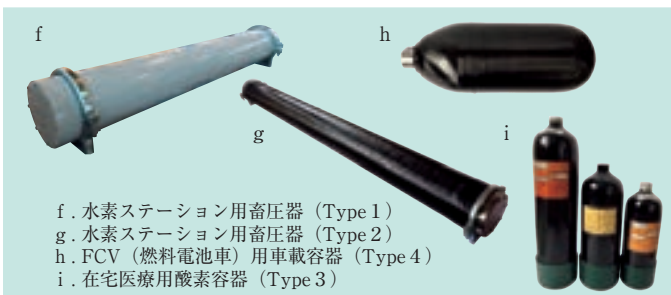
あらかじめプリントした鋼板を使用することで、従来にない個性的かつ美しい外観のドラム缶を実現しました。



お客様のアイデア次第で圧倒的な存在感を演出します。

## 高圧ガス容器事業

当中間期の業績は、売上高1億32百万円（前年同期比24.3%減）、経常損益は70百万円の損失（前年同期は64百万円の損失）となりました。医療用酸素容器は、国内での高齢化と在宅医療の拡大に対応した生産能力向上対策を行い、引き続き数量を伸ばしております。なお、水素容器の開発も順調に進んでおり、早期の市場投入を図ってまいります。



- f. 水素ステーション用蓄圧器（Type 1）
- g. 水素ステーション用蓄圧器（Type 2）
- h. FCV（燃料電池車）用車載容器（Type 4）
- i. 在宅医療用酸素容器（Type 3）

# トピックス

## ● 水島「自主保全道場」の開設

このたび、「自主保全道場」を水島工場内に開設いたしました。自主保全活動は、設備に強いオペレーターの育成により、設備故障の低減、品質の向上、生産性の向上、補修費の適正化などを実現することを目的とした取り組みです。トップからオペレーター一人ひとりの全員参加で、自分の使う設備を自らが管理し、「設備のあるべき姿」を維持し、正しい運転を継続することを目標としています。さらに、設備管理を通じて「人の意識改革」を進めることも大きな狙いです。当社においては、2014年度より水島工場をモデル工場として自主保全活動を開始し、現在、ドラム缶4工場に活動を展開しております。



外観



道場内実習



内観

水島工場においては、故障率の低減、生産性の向上などに定量効果が表れており、何より自主保全活動を通じて、社員お互いのコミュニケーション充実、職場の活性化にもつながってきています。

本施設の開設は、「実際に設備を目にして手に取り設備の知識を学びたい。教えたい。」という職場の提案が契機となりました。設備のカットモデルやデモンストレーション回路などを備え、社員が設備の仕組みを体感しながら保全知識を習得できる教育施設です。全社的に本施設を活用し、よりスピードを上げて自主保全活動を推進してまいります。

### 【施設概要】

名 称：自主保全道場

所 在 地：JFEコンテナ株式会社  
水島工場内

開 設 日：2017年9月23日

# 中間連結財務諸表（要約）

## 中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	第57期中間期 平成29年9月30日現在	第56期 平成29年3月31日現在
<b>（資産の部）</b>		
流動資産	<b>19,845,781</b>	<b>18,029,182</b>
固定資産	<b>17,564,010</b>	<b>17,670,282</b>
有形固定資産	14,533,789	14,687,470
無形固定資産	506,331	542,266
投資その他の資産	2,523,889	2,440,545
<b>資産合計</b>	<b>37,409,791</b>	<b>35,699,464</b>
<b>（負債の部）</b>		
流動負債	<b>9,616,881</b>	<b>8,259,793</b>
固定負債	<b>1,741,760</b>	<b>2,131,544</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,358,642</b>	<b>10,391,337</b>
<b>（純資産の部）</b>		
株主資本	<b>23,921,617</b>	<b>23,103,250</b>
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	16,916,485	16,098,117
自己株式	△9,742	△9,742
その他の包括利益累計額	<b>615,667</b>	<b>639,278</b>
その他有価証券評価差額金	310,473	242,700
為替換算調整勘定	449,179	546,323
退職給付に係る調整累計額	△143,984	△149,746
非支配株主持分	<b>1,513,864</b>	<b>1,565,598</b>
<b>純資産合計</b>	<b>26,051,149</b>	<b>25,308,126</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>37,409,791</b>	<b>35,699,464</b>

## 中間連結損益計算書

（単位：千円）

科目	第57期中間期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	第56期中間期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	<b>14,813,204</b>	<b>12,799,819</b>
売上原価	11,184,058	9,294,372
売上総利益	<b>3,629,146</b>	<b>3,505,446</b>
販売費及び一般管理費	2,245,344	2,169,276
営業利益	<b>1,383,801</b>	<b>1,336,170</b>
営業外収益	146,560	113,690
営業外費用	67,386	84,072
経常利益	<b>1,462,976</b>	<b>1,365,788</b>
特別損失	18,795	23,714
税金等調整前四半期純利益	<b>1,477,637</b>	<b>1,342,074</b>
法人税等	448,185	447,804
四半期純利益	1,029,451	894,269
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3,699	8,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>1,033,150</b>	<b>886,252</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	第57期中間期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	第56期中間期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>1,086,777</b>	<b>1,858,780</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,291	△292,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>120,995</b>	△227,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,420	△141,085
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	<b>771,060</b>	<b>1,197,620</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>4,460,574</b>	<b>3,178,066</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>5,231,634</b>	<b>4,375,687</b>

# 会社情報・株式情報

会社所在地	〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1丁目5番15号
電話番号	03-5281-8511 (代)
設立年月	昭和36年4月
資本金	2,365,000,000円
従業員数	262名
発行済株式数	28,675,000株
決算日	3月31日
株式上市市場	東京証券取引所 市場第二部
業務内容	ドラム缶、高圧ガス容器の製造・販売

## 取締役および監査役 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	小野定男
常務取締役	大崎恭紀
常務取締役	久保正幸
常務取締役	安達広志
常務取締役	岡部隆
取締役	吉田直人
取締役	木原幹人
取締役	三浦浩行
取締役(社外)	實川正治
監査役(常勤)	今井賢一郎
監査役(社外)	宮城順一
監査役(社内)	原守良
監査役(社外)	須和俊敦

## 株主の皆様へお知らせ～単元株式数の変更と株式併合のご案内～

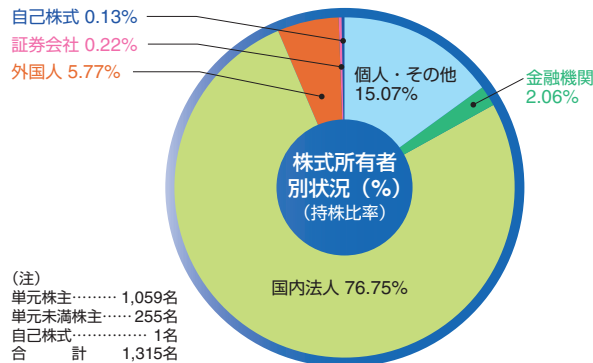
当社は、投資家をはじめとする市場利用者の利便性の向上を図るため、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。また、単元株式数の変更に併せて、東京証券取引所が望ましいとしている投資単位の金額水準(5万円以上50万円未満)を勘案し、当社の普通株式について、10株を1株の割合で株式併合を行いました。なお、株式併合により、ご所有の株式数は、併合前の10分の1となりますが、純資産等は変動しませんので、1株当たりの純資産額は10倍となり、株式市況の変動など他の要因を除けば、株主様がご所有の当社株式の資産価値が変わることはありません。

## 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	56,000,000株
発行済株式の総数	28,675,000株
株主数	1,315名

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施いたしました。これにより、発行可能株式総数は5,600,000株、発行済株式総数は2,867,500株となっております。

## 株主構成



## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
JFEスチール株式会社	15,482	54.06
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,218	11.24
JFE商事株式会社	1,534	5.36
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,260	4.40
京極運輸商事株式会社	636	2.22
JFEコンテナー社員持株会	416	1.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	256	0.89
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION - CLIENT ACCOUNT	224	0.78
山口 淳一	202	0.71
横浜容器工業株式会社	175	0.61

(注) 持株比率は、自己株式(37,257株)を控除して計算しております。

## 事業所一覧 (平成29年9月30日現在)

- 本社 / 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1丁目5番15号 猿楽町SSビル  
TEL.03-5281-8511 (代) FAX.03-5281-1225
- 大阪支社 / 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目25番13号 KS大阪江戸堀ビル  
TEL.06-6225-1670 (代) FAX.06-6225-1675
- 千葉工場 / 〒260-0826 千葉市中央区新浜町1番地  
TEL.043-261-3381 (代) FAX.043-264-8239
- 川崎工場 / 〒210-0862 川崎市川崎区浮島町9番2号  
TEL.044-266-3251 (代) FAX.044-276-1410
- 堺工場 / 〒590-0977 堺市堺区大浜西町9番1号  
TEL.072-238-4231 (代) FAX.072-222-0870
- 水島工場 / 〒712-8073 倉敷市水島西通1丁目1955番地  
TEL.086-448-3737 (代) FAX.086-448-2615
- 高圧ガス容器工場 / 〒210-0862 川崎市川崎区浮島町9番2号  
TEL.044-266-3254 (代) FAX.044-276-1757

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
定時株主総会および 期末配当の基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
臨時基準日	必要ある場合にあらかじめ公告のうえ設定
単元株式数	100株*
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

※当社は、2017年10月1日をもって単元株式数を100株に変更しており、記載は変更後の単元株式数となっております。

### <住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### <未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告 (当社ホームページに掲載)  
[アドレス] <http://www.jfecon.jp>  
※事故その他やむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に掲載して行います。

「株券の保管振替制度」  
関係手続きのご照会先 お取引先の証券会社

## ホームページのご案内



<http://www.jfecon.jp/>



JFE コンテイナー 株式会社

JFE